

東の海より出ずる朝の日

令和2年 1月14日 NO.9

求めよう！

東海で15歳のあるべき姿を！

品川区立東海中学校 校長 野口 敏朗

電話 03 3471 6951

知的好奇心を高めることは不易

今月の行事

- 01/08(水) 始業式
- 01/09(木) 専門委員会
- 01/10(金) 避難訓練
- 01/12(日) 東京駅伝練習会
- 01/13(祝) 成人の日
- 01/15(水) 部活動再登校
- 01/17(金) 漢字検定
- 01/18(土) 土曜登校日
- 01/19(土) 東京駅伝大会試走会
- 01/20(月) 生徒会朝礼
- 01/22(水) 職場訪問事前指導⑦
都立高推薦入願日
部活動再登校
- 01/24(金) 東海G児童生徒会
- 01/25(土) 東京駅伝練習会
- 01/26(日) 都立高推薦入試日1
- 01/27(月) 都立高推薦入試日2
- 01/29(水) 市民科地区公開講座
- 01/30(木) 劇団四季鑑賞会
都立高推薦合格手続
- 02/01(土) 土曜登校日
- 02/03(月) 専門委員会
- 02/06(木)~07(金) 職場体験⑧
- 02/07(金) 新入生保護者説明会
- 02/11(祝) 建国記念日

シンメトリーの美しさ

新年あけましておめでとうございます。昨年は、保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。本年も変わらぬご支援をお願いいたします。

昨年は、新天皇ご即位に併せて、平成から令和へと、改元が行われた記念すべき年ではありましたが、一方で、地震や台風などの天災や、京都アニメーションへの放火、首里城の火災など、多くの尊い命を失ったり、大切な建造物などの損壊や焼失等の出来事があつたりした年でもありました。そうした中、今年は、世界各国から選手として、観戦や観光目的として、多くの人々が集う東京での2回目のオリンピックが開催される年です。ぜひとも、災害等に見舞われることのない穏やかさの中にも、活気があふれる年であってほしいものです。

さて、この正月に家族とドライブに出かけました。高速道路から臨む冬の富士山はいつ見ても美しく感じます。ことに冬は空気が澄んでいて、白雪をいただく富士山に思わず見入ってしまいます。なぜ、富士山を美しく感じるのかをかつて科学番組で解説していました。その答えとして富士山が「シンメトリー」な独立峰であるからだとしていました。「シンメトリー」とは、「釣合がとれていること。均整。狭義では左右対称（新明解国語辞典第四版）」ということです。人は左右対称のものを美しく感じるのだそうです。周囲に高い山がなく、左右対称の稜線が富士山を美しいと感じる理由だそうです。左右の釣合がとれている、つまり、バランスがとれていることに私たちは美を感じるのでしょうか。昨年末、9年生対象に面接指導を行いました。その中で、多くの9年生に「文武両道・文武両立」という発言がありました。彼らは「学習と部活動を両立する」という意味で活用していました。学習と部活動は対称物ではありませんが、「高いレベルで釣合がとれていること」が確立できるならば、文武両立はまさに「シンメトリーの美しさ」に匹敵するものでありましょ。9年生には、目指す進路でぜひとも獲得してほしい「美しさ」です。

努力を楽しむとして継続することの美しさ

発明王として名高いエジソンは「人間は1%の才能と99%の努力だ」と言っています。確かに才能があるという人はいると思います。才能あると言われる人は、スタートでは、いつも、他の人よりリードするものでしょう。でも、その人が、今持っている力に甘んじていたならばどうなるのでしょうか。結果は明らかです。一方、才能には自信がない人でも「努力する人」はどうでしょうか。コツコツと積み上げた努力は、蓄積され、ある時、突然、力となって発揮され始めるのではないのでしょうか。努力の結果はすぐに出ませんので、あきらめてやめてしまう人もいますが、物事を最後まで競った時、「努力する人」が「才能あると言われる人」に勝ることが数多く見られます。さらに、「努力する」を、「楽しみ」に変えたならばどうでしょうか。嫌々ながら努力をしている人と、自分の意志で、将来の目標に向けての「楽しみ」と捉えようとしている人とは、最後の伸びが違うはず。だからこそ、今、自分がやっている「勉強」「部活動」「ボランティア」など、自分で決めたことを信念をもって『継続する』のです。やめてしまうことは簡単です。でも続けることは大変なことです。そうした意思や行動、実践は、まさに「美しさ」だと私は思っています。私もそうでありたい。

パラリンピック代表トップアスリートに学ぶ～ブラインドサッカー講演会の実施

12月20日(金)にオリンピック・パラリンピック教育の一環として、ブラインドサッカー日本代表の寺西一さんと、日本ブラインドサッカー協会事務局大会地域連携事業部部長代行の佐藤豪さんをお招きし、講演会を実施しました。ブラインドサッカーのルールや競技の特徴について説明をいただきながら、パラリンピック代表の寺西選手によるドリブルやキックなどを披露していただきました。また、代表生徒とともに、競技の体験を行い、ブラインドサッカーに対する理解を深めました。視覚障害者と健常者が、当たり前前に混ざり合う社会を実現することを目標に活動するブラインドサッカー協会の考え方にも触れることができ、視覚障害者に対する理解を深めるよい機会となりました。



～生徒の感想～

- ◎ 今回はブラインドサッカーを教えてください、ありがとうございました。僕が主に学んだことは「目が不自由な方」についてです。目の不自由な方は前を歩いても走れないと思っていました。しかし、寺西選手を見て、「切れの良い動きだ」と思いました。日本代表として、活躍してほしいです。
- ◎ 目が見えなくても自由に運動することができることを知ると同時に、障害に対しての意識が変わるきっかけにもなりました。ブラインドサッカーの特別授業をしてくださいありがとうございました。



中学生の主張大会

12月14日(土)に立正大学品川キャンパス石橋湛山記念講堂で、第20回品川区中学生の主張大会が行われました。品川区内の中学校・義務教育学校から選出された代表生徒が発表を行い、本校からは8年1組の木内花音さんが出場しました。木内さんは「平和への祈り」についての発表を行いました。この大会で発表した内容につきましては、2月17日(月)に本校で実施する学習成果発表会でも披露する予定です。



中学生の税についての作文

12月4日(水)に品川区立中小企業センターにて、中学生の「税についての作文」表彰式が行われました。「税についての作文」は全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が主催し毎年9年生が社会科の授業の一環で、応募しているものですが、今年度は9年4組の久保田真衣さんが品川納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。先月の学校だよりでお知らせいたしましたが久保田さんは税の標語でも東京国税局間税会入選を受賞しています。



(先月の学校だよりで久保田さんのお名前の表記に間違いがありました。お詫びして、訂正いたします。)

第11回中学生「東京駅伝」大会に向けて練習中!

令和2年2月2日(日)に東京駅伝がアミノバイタルフィールド・武蔵の森公園で開催されます。東海中からは3名の選手が品川区の代表選手として練習しています。応援よろしく願いいたします!!

8年3組 山中悠生 8年3組 吉本 勝太郎 8年4組 小林 亜季沙